

# チベットの人たちの 文化と人権を守ろう

ーただし、私たちは北京五輪の開催に反対するものではありませんー

**\*とき** 4月26日(土) 10時から12時(リレートーク・署名・チベットの旗作り等)

8時、長野で北京五輪の聖火リレーがスタートします。

それに合わせて、広島原爆ドームの前で平和の願いを現す集会を持ちたいと思います。

**\*ところ** 原爆ドーム前

中国が、前回の夏のオリンピックの開催地争いでシドニーに敗れたのは、チベット弾圧を初めとする人権問題が原因でした。今年の北京誘致に当り、中国政府は「人権状況の改善」を公約しました。しかし現在、チベット自治区では953人が拘束され、さらに増えようとしています。(4月9日、自治区のシャンパブツォク主席発表)

またラサでは、僧院が軍隊で包囲され、中にいる人々は食料を得ることも難しく、飢餓が深刻となっています。餓死者も出ていると聞きます。(4月9日、亡命政府発表)

中国政府は、“暴動”に参加した者を4月末日までに裁き、最も厳しい刑に処する旨の声明を発表しました。

(4月2日、自治区書記、張慶黎発表) また四川省でも僧侶572人が拘束され、チベットの人たちが観音菩薩の生まれ変わりと信ずる、ダライ・ラマ法王の肖像画をまたぐように強制されました。(4月2日、亡命政府発表)

各地の死者は、140名を超えています。(3月25日発表、亡命政府発表)

3月24日のギリシャでの聖火採火式で乱入があり、以後各国の聖火リレーで混乱が続いているのは、中国が内政干渉という理由で人権改善の公約を守っていないことを、世界中の人たちが知っているからです。

私たちは、中国でのオリンピックの開催に反対しているわけではありません。また聖火リレーを妨害するつもりもありません。中国政府は自らの公約を守ってほしい。そのために、聖火リレーの日本通地である長野での行動に合わせて、一ヶ月前の平和行進に続き、ヒロシマの地で再び平和への願いを現します。

63年前まで、私たちの日本は、中国を始めアジアの国々を侵略し、人権をまったく無視し、多くの生命を奪った歴史をもっています。同じ過ちを今、隣人である中国に繰り返してほしくはありません。

いのちは、つながりあっています。ご一緒に原爆ドームの前で、チベットの地にいる人たちの苦しみを受けとめてゆきましょう。またご都合で参加できない方も、おられるその場所でチベットの人たちの安穏を願ってくだされば、ありがたいことです。

平和は、あなたの“こころ”から始まります。(2008年4月20日)

## 《中国政府にたいしての申し入れ》

- \* 「中国は一つである」と主張されるのであれば、チベットの人たちの人権や文化も尊重してください。
- \* 拘束している人たちに危害を加えることなく、そのいのちの尊厳と健康を保証してください。
- \* 情報を公開し、国際機関の調査団や、メディアや医療チームの立ち入りを認めてください。
- \* ダライ・ラマ法王と胡錦濤(フー チンタオ) 国家主席との対話を実現してください。

「非暴力・仏教徒の会」呼びかけ人 信楽峻鷹・寺山寿範・季平恵海・沖和史・城山大賢・岡本法治・吉崎哲真・池田静思・  
築田哲雄・菅瀬融爾・岩崎智寧・谷川修真・小武正教・菅原龍憲・友国義信・藤井聰之・大江厚子・正木峯夫・佐々木至成・  
福崎裕夫・栗原尚道・泉哲朗・長岡裕之・菅和順・武田敏弘・竹田嘉円・法林英俊・古野竹則・広幡康祐・毛利慶典・  
季平博道・坂原英見・高橋了融・野世英水・福岡真也 (連絡先 岡本 090-7503-4989)

「すべての者は暴力におびえ、すべての者は死をおそれる。己が身に

ひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」(『ダンマパダ』129)